

キャラクター名
プリス

プレイヤー名

シンドローム	エンジェルハイロウ ブラックドッグ	ワークス	レネゲイドビーイングD	カヴァー	メイド
	オプション	年齢		性別	女?
覚醒	素体	衝動	恐怖	初期侵食率	39%
出自	人工生命	経験	大活躍	邂逅	ビジネス

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0		1	3	行動値	14
感覚	4	0	0		1	5	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	0	1	0			1	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6	10	交渉		1
回避	1		知覚	3		意志	1		調達		
運転:			芸術:料理	2		知識:レネゲイド	2		情報:UGN	1	
運転:			芸術:清掃	2		知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
0~2	RC	3r+16	6	14		
0~3	RC	4r+16	10	26		1シナリオ3回
0~3 5~6	RC	4r+16	20	21		1シナリオ1回 シーン全体
0~4,7,8	RC	4r+16	18	67		100% 1シナリオ3回

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
RCブースター×5	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
変異種:ブラックドッグ	P	N		
整備士	P 有為	N 不安		
メテオウィッチ	P 連帯感	N 憤懣		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1							
効果:	衝動判定ダイス+[LV]							
オリジン:ヒューマン	1	2	マイナー					
効果:	エフェクト使用した判定の達成値+[LV]							
ハードワイヤード	5		常時					
効果:	基本浸食値+4 RCブースター×5							
ライトカスタム	2		常時					
効果:	【肉体】【感覚】+1 「行動値」+2 基本浸食値02							
イオノクラフト	1	1	マイナー					
効果:	飛行移動 移動力+[Lv×2]							
コンセントレイト:エンジェルハイロウ	2	2	メジャー					
効果:	CL-[Lv]							
光の手	1	2	メジャー			RC		
効果:	RCを感覚で判定							
雷の槍	5	2	メジャー			RC		
効果:	攻撃力+[Lv×2+4] 近接不可 ダイス-1							
降魔の雷	3	4	メジャー			RC	変異種	
効果:	攻撃力+[Lv×4]							
雷の剣	2	2	メジャー			RC		
効果:	攻撃力+5 近接可能に							
スターダストレイン	3	6	メジャー			RC		
効果:	攻撃力-[20-Lv×5]							
破滅の天使	1	4	メジャー			RC	リミット	
効果:	対象のカバーリング不可、失敗しない							
MAXボルテージ	1	4	メジャー			シンドローム	80	
効果:	攻撃力+10 ダイス-1							

ガロン博士の助手というか世話役兼護衛として創られたというホームクルスメイド。しかし、ガロン博士は彼女のことを「失敗作」と言っていた。「君は私が創った生命ではない」と

10年以上前、彼女はガロン博士のもとで働き、世話になり、世話をして生きていた。彼女は愛情をもって自分に接してくれており、彼女も彼に対して誠意を持ってお世話をしていた。お互いの関係は主従として良好であり、親愛、もしくは信頼は確かに互いにあった。

そう、彼女はホームクルスでありながら感情を自認していた。それを博士が認識したときに、上の言葉が出た。「君は私が創った生命ではない」

彼の死に際から託された「匣」がある。彼はこれを「世界の命運を握る」と言った。彼女はクールレゾナンスに身を寄せている。果たして、この戦いの先に何かがあるかと思いつつ、そして、終わった後、自分はどうぞすれればいいのだろうと思っている。

彼女には感情がある、心がある、そして、それを自認している。だからこそ、彼女は思うのだ。「そんな私でも、『次』に何を言えればいいかわからないのです」と

性格はどこかこう、捻じれている。どんな相手に物怖じはしない。そして、思ったことは口に出す。ツッコミもする。ただ、メイドであるという誇りと生来上の性格から、世話焼きであり困ったものは見過ごせない。

